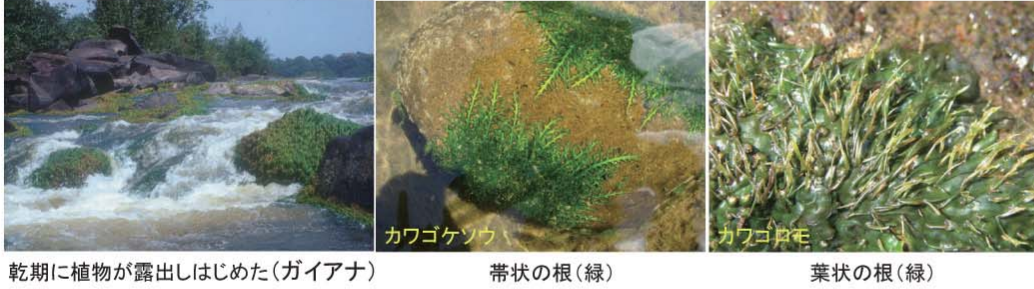




## ① カワゴケソウ(川苔草)科の特徴(下図)

- (1) 生えているところ=「川」の早瀬の岩の上
- (2) 姿かたち=「コケ」のような姿であるが、花が咲く顕花植物(「草」)
- (3) 一年の生活=水位の高い雨期(夏)は水中で成長し、水位が下がる乾期(冬)は空中に露出し枯れるが、その前に開花し結実する(④参照)



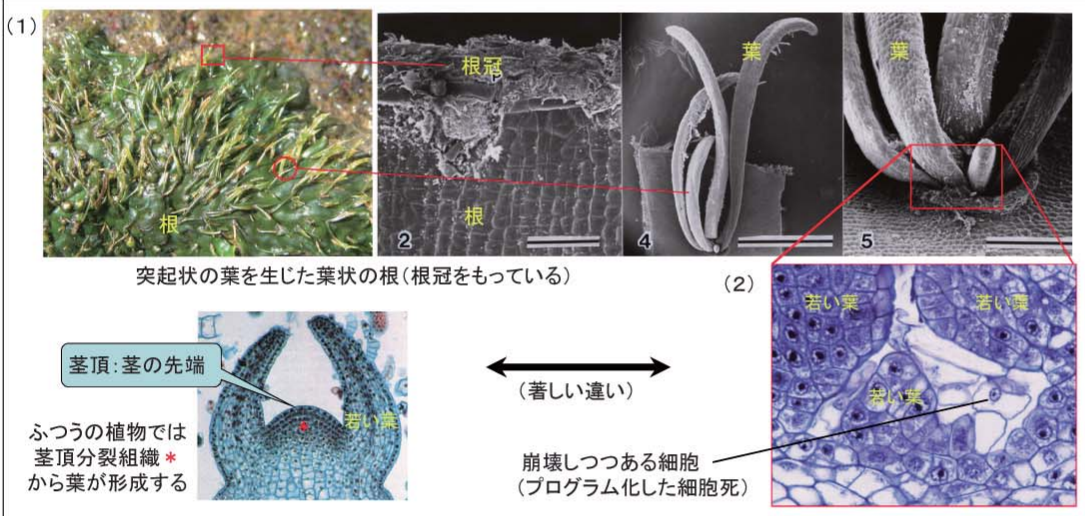
## ② カワゴケソウの祖先(上図)

オトギリソウ科から2,600万年前に進化したことが分子系統解析からわかった(Forestら2009)



## ③ コケのような姿(下図)

- (1) 緑色の葉状の体は、光合成できるように特殊化した根であり(根冠がある)、根の上の突起が本来の葉である
- (2) 葉は根の内部で、周囲の細胞が崩壊・消失しながらつくられる



## ⑤ カワゴケソウ科の保護

- (1) 天然記念物として保護されているが、実現は
- (2) 特有の環境が破壊されると簡単に絶滅する(下図)

(1) 天然記念物に指定され保護されるカワゴケソウ科



(2) ダム建設で破壊された自生地



日本で初めて発見した今村駿一郎は後年保全に尽力した

カワゴケソウ科の分布と現状(今村駿一郎原図)



## ④ 植物のつくり(基本設計図)が変わっている(右、下図)

- (1) 根の上に葉ができる(②参照)!
- (2) 根の上に花が咲く!
- (3) 成長方向を上下軸から水平軸に切り変えた!

